



新ゴリラ日記



vol.59

2022年3月

＊ また一つ成長！？ ＊

vol.58で、モモタロウが交尾前のように体を震わす行動を見せているという話を書きました。その原因について今のところ担当者が思っていることを説明したいと思います。

先月の初め、ゲンタロウが担当者に対して、ディスプレイ（自分を強く見せようとする行動）、ついて来る、じっと見つめる、鳴く（特にゲンタロウから離れようとするとき大きな声で鳴く）といったアピールと見える行動をとりました。鳴き声は今まで聞いたことのないものでした。その際に、他の3頭がゲンタロウのお尻や脇の臭いを嗅いでいる様子も見られました。そしてさらに、ゲンタロウの傍でモモタロウが交尾時の体を震わす行動を見せました。この時ゲンキは全くの無反応で、モモタロウの近くにもいませんでした。

モモタロウはメスに対してアピールするような行動を見せたことがないので、担当者もゲンタロウの行動は初めて見るものでしたが、状況や周りの個体の反応などから、ゲンタロウがオスとして成熟しつつあるということかなと考えています。そして、モモタロウの体を震わす行動は、ゲンタロウの様子や、おそらくゴリラたちは感知していたゲンタロウのにおいの変化に触発されて起こったもので、ゲンキとは無関係だと思っています。



↑モモタロウがゲンタロウのお尻をチェック。以前はほとんど見られなかった行動です。

動物園のゴリラが飼育員などのヒトにアピー

ルするのは珍しいことではありません。ゲンキの母親であるヒロミも、男性担当者にアピールすることがあったようです。ゲントロウからのアピールは、最も強い反応を見せた初日（休園日でした）から5日ほどで収まり、その後は今のところ担当者に対してたまに小さく鳴くことはあるものの、最初のような大きな反応はありません。また、最初にアピールされた担当者は女性ですが、その後普段ゴリラを担当していない男性飼育員に対しても似たような行動を見せたようなので、この行動の詳細な意味は、まだしばらく様子を見なければわからないと思っています。

ゲントロウ自身やモモタロウにとっても初めての経験なので、きっと戸惑う部分もあるのだと思います。これからこのような行動や関係性の変化などが見られると思いますが、それぞれの成長を楽しみながら、温かく見守って頂けると有難いです。



↑興奮するモモタロウの脇のにおいを嗅ぐキンタロウ。今はまだ何もわかっていませんが、いつか理解できる日が来ます。

～今回の一枚～

「甘えん坊モモタロウ」

先月、動物脱出対応訓練やゴリラたちの室内へのハト侵入騒ぎが続き、ちょっとナーバスな状態が1週間ほど続いたモモタロウ。お昼ごはんをグラウンドに取りにいかず、室内で手渡しでもらうと食べる…という甘えん坊モードだった時の1枚です。とってもご機嫌でした(^_^;

